

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)

【公開番号】特開 2010-129507 (P2010-129507A)

【公開日】平成 22 年 6 月 10 日 (2010.6.10)

【年通号数】公開・登録公報 2010-023

【出願番号】特願 2008-306169 (P2008-306169)

【国際特許分類】

F 2 1 V 3/04 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 V 3/02 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 V 3/04

F 2 1 S 2/00 2 3 0

F 2 1 V 3/02 2 0 0

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 11 月 4 日 (2011.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

L E D 光源を有し、蛍光灯型照明器具又はライン照明器具に使用される照明器具であって、該照明器具の照射側に、少なくとも片面に特定の凹凸形状を有する光透過性パネルが光源に対向するように配置されており、該光透過性パネルの凹凸形状の平均波長 (a) は $1 \mu m \sim 100 \mu m$ であることを特徴とする照明器具。

【請求項 2】

前記光透過性パネルは、凹凸形状面に垂直に光線を入射した場合の透過拡散光の拡散角度が 50° 以上 110° 以下であることを特徴とする請求項 1 に記載の照明器具。

【請求項 3】

前記凹凸形状は、高さ及びピッチが不規則であることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の照明器具。

【請求項 4】

L E D 光源の間隔を P、L E D 光源と光透過性パネルの間隔を H とした場合の P / H が 0.1 以上 10 以下であることを特徴とする請求項 1 から請求項 3 のいずれかに記載の照明器具。

【請求項 5】

L E D 光源上の輝度を A、L E D 光源と L E D 光源の間の輝度を B とした場合の A / B が 1.20 以下であることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 のいずれかに記載の照明器具。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

即ち、本発明の照明器具は、LED光源を有し、蛍光灯型照明器具又はライン照明器具に使用される照明器具であって、該照明器具の照射側に、少なくとも片面に特定の凹凸形状を有する光透過性パネルが光源に対向するように配置されており、該光透過性パネルの凹凸形状の平均波長（ a ）は $1\mu m \sim 100\mu m$ であることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、上記照明器具において、前記光透過性パネルは、凹凸形状面に垂直に光線を入射した場合の透過拡散光の拡散角度が 50° 以上 110° 以下であることが好ましい。

また本発明は、上記照明器具において、前記凹凸形状は、高さ及びピッチが不規則であることが好ましい。